

お広島のお米!

JAから届けよう

組合員の皆様、お米はJAにおまかせください!



ひろしま米イメージキャラクター「い〜ねくん」

昨年も多くのお米をJAに出荷いただき、誠にありがとうございました。

本年産米につきましても、JAを通じて販売する「ひろしま米」にはたくさんの消費者や実需者の皆様から期待が寄せられています。

昨今の米をめぐる情勢は、5年産米で全国的な作付け転換が進んだことや、アフターコロナに伴う外食需要の回復、インバウンド需要の増加などを背景に需給改善が急速に進んでいます。こうした状況から6年産米では、主産地を中心に飼料用米等からの主食用米回帰への動きが強まっています。また、食生活の変化やSDGsの浸透等を背景に米の消費形態やニーズ・販売チャネルは急速に変化しています。

このようななか、持続可能な農業を実現するためには、“消費県”である地の利を活かし、JAグループ一体となり将来を見据えた県産米の付加価値向上や契約栽培を通じた需要拡大を図るとともに、その需要に応じた農業生産基盤の維持・拡大や供給体制の確立が重要となります。

JAグループ広島は、これからも常に皆様の近くで「ひろしま米」の生産振興から販売・消費拡大まで取り組んで参りますので、JAへの米の出荷につきまして引き続き、ご理解、ご協力賜りますようお願いいたします。

米穀事業の取り組み

1

広島県産米の消費拡大

「ひろしま米はひろしま愛プロジェクト」を通じ、販促活動を強化し量販店や産直市、飲食店等において、広島県産米の認知度向上や付加価値の創出、ファン作りを進め、生産者の所得向上を目指します。



「ひろしま米はひろしま愛プロジェクト」専用サイト



プロジェクトロゴ

2

ひろしま米の価値向上につながる商品開発・販売展開

地域や品種の特徴を活かしたブランド化や県域での環境負荷低減の取り組みを通じ、ひろしま米の価値向上を実現するとともに、それを消費者に伝えることで、近年高まりつつあるエシカル消費を促し、米の需要拡大に繋がります。

3-R商品



3-R商品（おおあさこしひかり、せらにしあきさかり、ライスバーガー）

3

実需者等との安定的な取引拡大

確実な需要が見込める中食・外食実需者等との複数年契約栽培（6年産計画2,000トン以上）の取り組みにより、ひろしま米の安定的な取引拡大を進めます。

4

原材料米・水田活用米穀（加工用米や飼料用米等）による水田フル活用の推進

県内を中心とした確実な需要に向けた水田フル活用を推進し、交付金等を活用した生産者の経営安定に寄与します。



こめたまご
（▶ 耕畜連携
広島こめたまご）